

令和6年4月
板橋区

東日本高速道路株式会社が発行するソーシャルボンドの購入について

板橋区は、このたび、東日本高速道路株式会社（以下、「同社」という）が発行するソーシャルボンド（東日本高速道路株式会社第111回社債（一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構併存的債務引受条項付）、以下「本債券」という）への投資を決定しましたので、お知らせします。

「ソーシャルボンド」とは、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券です。

同社は、新規路線の開通、耐震補強、逆走事故の低減、老朽化対策、渋滞緩和による二酸化炭素排出抑制等の成果を目標として高速道路事業を展開しており、2021年6月、本債券を発行するための枠組みであるソーシャルボンド・フレームワークについて、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義するソーシャルボンド原則2021に適合する旨、株式会社格付投資情報センター（R&I）からセカンドオピニオンを取得しています。

本債券の発行による資金調達は、同社が実施する高速道路事業に充当され、地域活性化、災害対策、交通安全の推進、環境保全などの社会貢献活動に活用されます。

板橋区は、本債券をはじめとしたSDGs債への投資を継続的に実施することによって、持続可能な社会の実現に貢献できるよう取組みを推進するとともに、経済・社会・環境の三側面の総合的な発展による「東京で一番住みたくなるまち」の実現をめざしていきます。